

# ハセテック電気自動車用急速充電器

形名  
QC03-3P3W / QC03-3P3W-EN  
44kW

## 施工説明書

### 【安全上のご注意】

本充電器を正しく安全に据付けしていただくため、下記の安全注意事項を必ずお守りください。

● 警告と注意の意味は、次の通りです。

● 本文中「図記号」の意味は、次の通りです。

 <b>警告</b>	「死亡または重傷を受ける可能性が想定される」内容です。	 必ず実行していただく「強制」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容です。

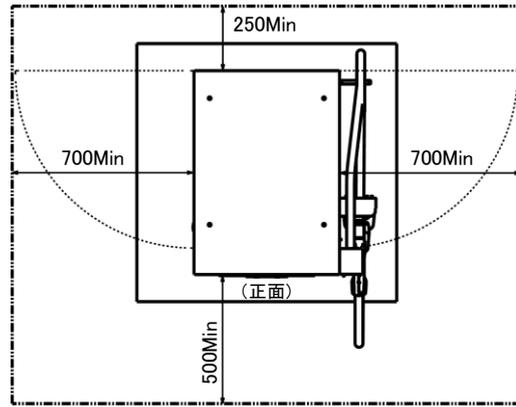
● 据付け後に必ず、お客様にお渡しください。

 <b>警告</b>	● 据付工事は、専門業者に依頼する。 専門業者以外の工事での不備があると、火災、感電、本器の転倒などの原因となります。
	● 据付工事は、この施工説明書に従って実施する。
	● 電気工事は、「電気設備技術基準」及び「内線規定」に従って実施する。 不備があると火災、感電などの原因となります。 配線は、HIV 電線等(耐圧 600V 以上)で、断面積 100mm <sup>2</sup> 以上で行ってください。
	● ガス類や引火物などの発火の恐れがない所に設置する。 内部の部品接点スパークで引火の恐れがあります。
	● 常に水のかかる場所には設置しない。 感電の恐れがあります。
 <b>注意</b>	 本器の周囲にはスペースを空けて設置して下さい。(寸法詳細は Page3 参照願います)
	据付け面は、基礎工事を行い、本体はアンカーボルトできちんと固定する。 転倒によるけが等、災害の元になります。
	電源は、200V 三相 3 線式を使用する。 200V 三相 3 線式以外を使用しますと、発火の原因となる場合があります。
	次の場所には設置しない。 ・ 海岸地区など塩分が多い所、運転音が隣家の迷惑になる所に設置すると、故障、事故やクレームの原因になります。

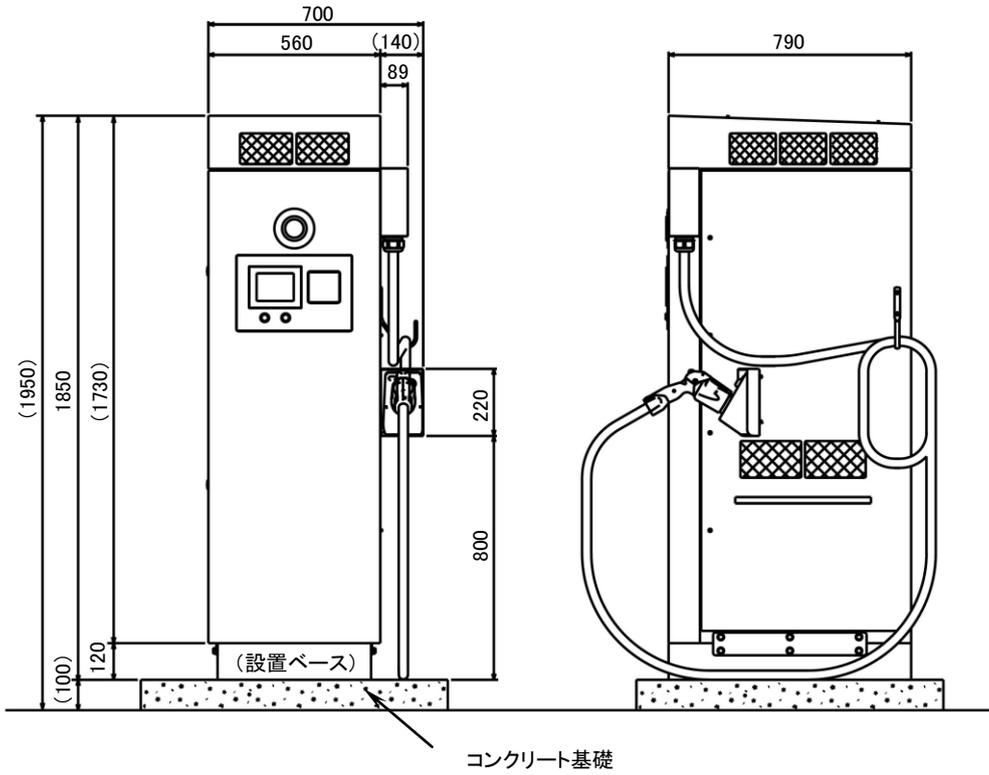
**【基本仕様】**

基本項目	仕様
<b>【交流入力】</b>	
入力電流	最大入力電流 140A 漏電ブレーカは、200A(主回路)及び 15A(制御回路用で入力より分岐済み)
定格容量	49kVA
相数	三相 3 線式
電圧	AC200V±15%
定格周波数	50Hz/60Hz
定格力率	0.95 以上(定格電流出力時)
<b>【直流電力】</b>	
出力電圧	DC50～500V
出力電流	DC110A 最大
定格直流電力	44kW
<b>【その他】</b>	
効率	90%以上(定格電流出力時)
給電用コネクタ	接触式(JEVS G 105 準拠) 標準長 約 4m
交流回路と直流回路の絶縁	絶縁済
操作・表示部	押しボタンスイッチ及びタッチパネルによる
質量	約 325kg(設置ベース込み)
騒音	65dB(A) 以下(定格電流出力時)
保護等級	IP33
使用環境	使用温度範囲 -10℃～+40℃ 使用湿度範囲 30～90% (結露なきこと) 標高 1,000m 以下、屋外設置可能、但し塩害地域は不可

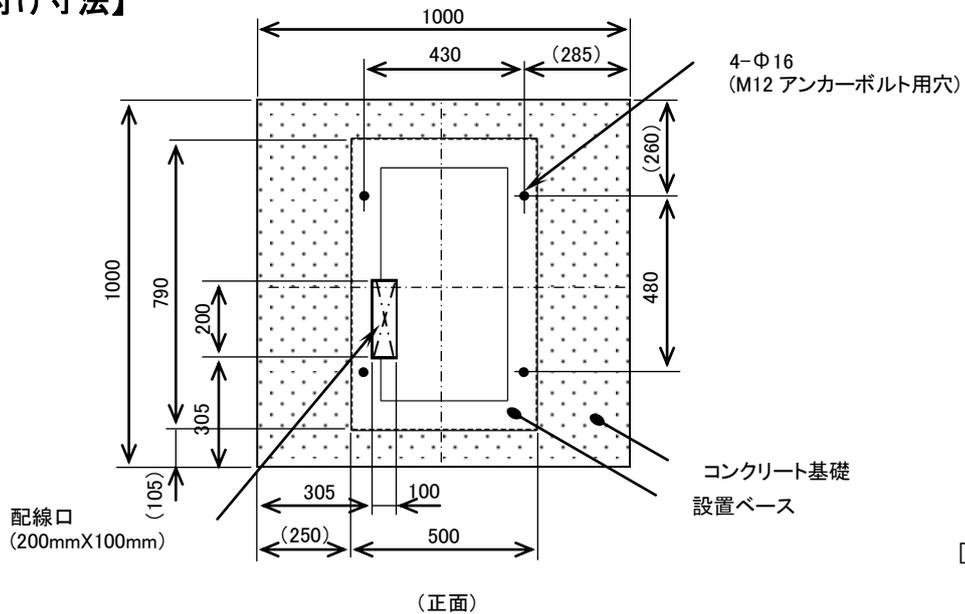
## 【外形図】



メンテナンススペース



## 【設置ベース取付け寸法】



[単位: mm]

(正面)

## 【設置方法】

### 1. 据付場所の選定

- ① 据付場所は、冬期でも-10℃以上の場所を選定してください。
- ② 基礎工事は必ず行ってください。

	<b>警告</b>	 本器は、質量約 325kg のため、基礎工事をしっかり行ってください。
---	-----------	---

- ③ 屋外設置の場合は、雨水で本器が浸水しない場所を選定してください。
- ④ 電源は、200V 三相 3 線式で、電流容量 200A 以上を確保してください。
- ⑤ テレビ、ラジオ等への電波妨害防止のため、妨害有無の確認をしてください。
- ⑥ 塩害地域への設置はできません。
- ⑦ 積雪地域で据付ける場合は、本器に小屋がけしてください。

### 2. 基礎工事と本器据付

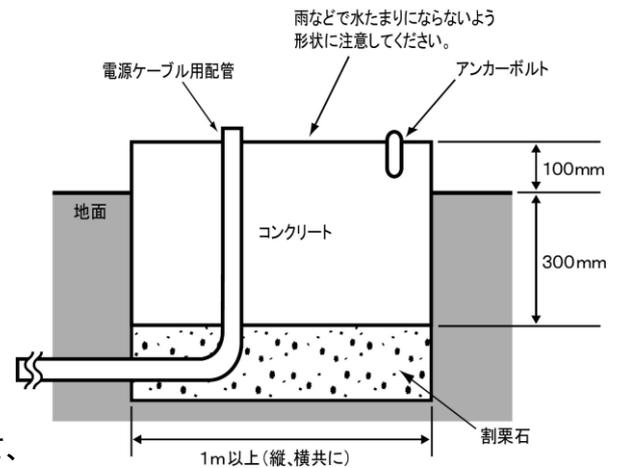
- 設置ベースを弊社より支給致しますので、支給日、荷受人、送付先、電話番号等をお知らせ願います。
- ・ コンクリートの圧縮強度 18MPa { 180kgf / cm<sup>2</sup> } 以上を使用して基礎工事を行ってください。
- ・ コンクリートの大きさは、縦 1m × 横 1m × 高さ 0.25m 以上を確保してください。
- ・ 電源ケーブル用配管を外形寸法図に従って行ってください。
- ・ アンカーボルト (M12 ステンレス製を推奨) の施工方法

- ① 設置ベースに合わせて、アンカーボルト (4 本) の位置を決めて、ドリルで所定の穴径、深さで穴をあけてください。  
穴径、深さは、アンカーボルトの仕様に従ってください。
- ② ダストポンプ等で切粉を取り除いてください。
- ③ アンカーボルトを打ち込んでください。

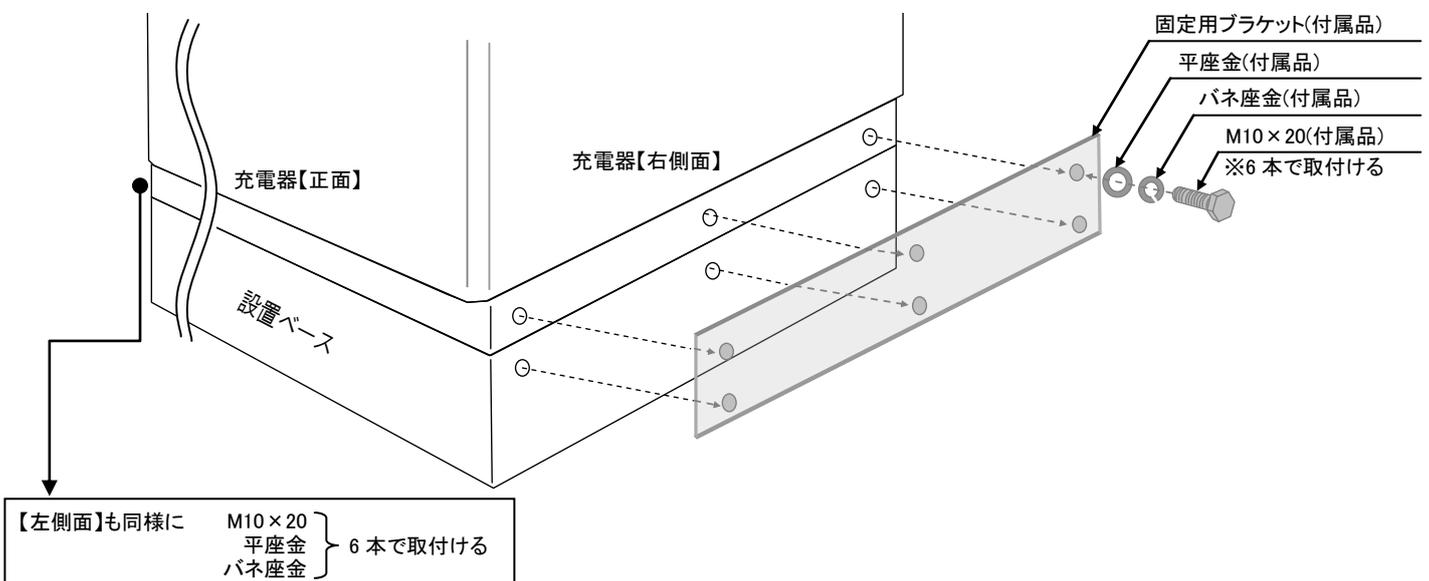
#### ・ 本器の据付

- ① 設置ベースをアンカーボルトに合わせてナット、ばね座金、平ワッシャーで固定します。(各 4 個)
- ② 本器を据付けて、付属の固定用ブラケットを用いて、付属品のボルト (M10 × 20)、ばね座金、平ワッシャーで固定します。(各 12 個)

### 基礎工事施工例



### 本器の据付方法(説明図)



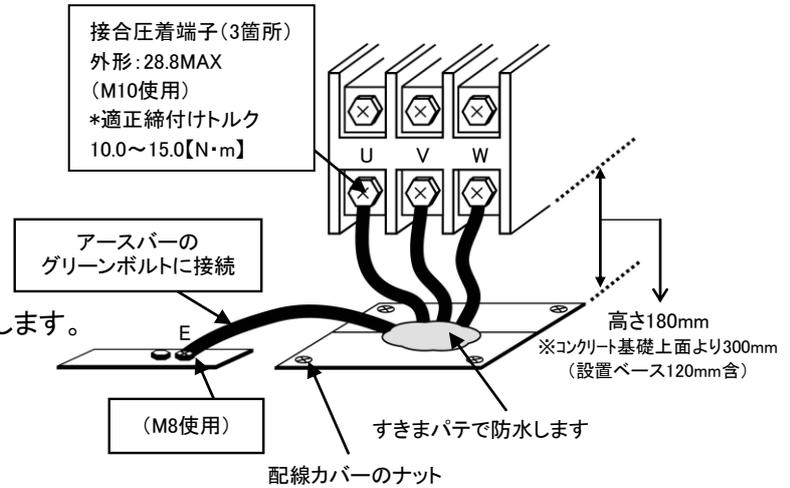
## 3. 200V 電気配線工事

工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。  
「電気設備技術基準」及び「内線規定」に従って作業してください。

※上流側(分電盤)漏電ブレーカの感度電流は 100mA、  
感度時間は 200ms に設定願います。

- ① 本器の左側面扉を付属の鍵で開けます。
- ② 漏電遮断器前面の保護用カバーを外します。
- ③ 本器の下側に AC 入力端子台があるので、配線カバーを外し、電源ケーブルの長さをあわせ配線します(右図参照)。
- ④ アース線を接続します。
- ⑤ AC 入力端子台の配線カバーを取り付けます。
- ⑥ 電源ケーブルの立ち上げ部をすきまパテで防水処理します。
- ⑦ 電源ケーブル線は、HIV 電線等(耐圧 600V 以上)で断面積は、100 mm<sup>2</sup> 以上を使用してください。
- ⑧ 三相ですので、相順(正回転)を確認してください。
- ⑨ 漏電遮断器前面の保護用カバーを取付けます。

本器AC入力端子台



**警告**



電源ケーブルは、最大出力時に約 140A が流れます。  
電源ケーブルに 100 mm<sup>2</sup> 未満を使用しますと、火災・感電の恐れがあります。

## 4. C 種接地工事

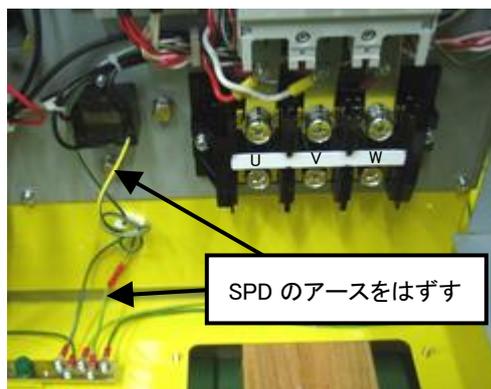
- ① アース線は、本器のアース用グリーンボルトから配線してください。
- ② 電気工事士による C 種接地工事を行ってください。
- ③ アース線は、14mm<sup>2</sup> 以上の緑色被覆線を使用してください。

## 5. AC200V 電気配線後の絶縁抵抗試験

入力の電気配線後には必ず絶縁抵抗試験を実施してください。  
判定基準:500V メガーで 10MΩ 以上であることを確認してください。

<試験時の注意事項>

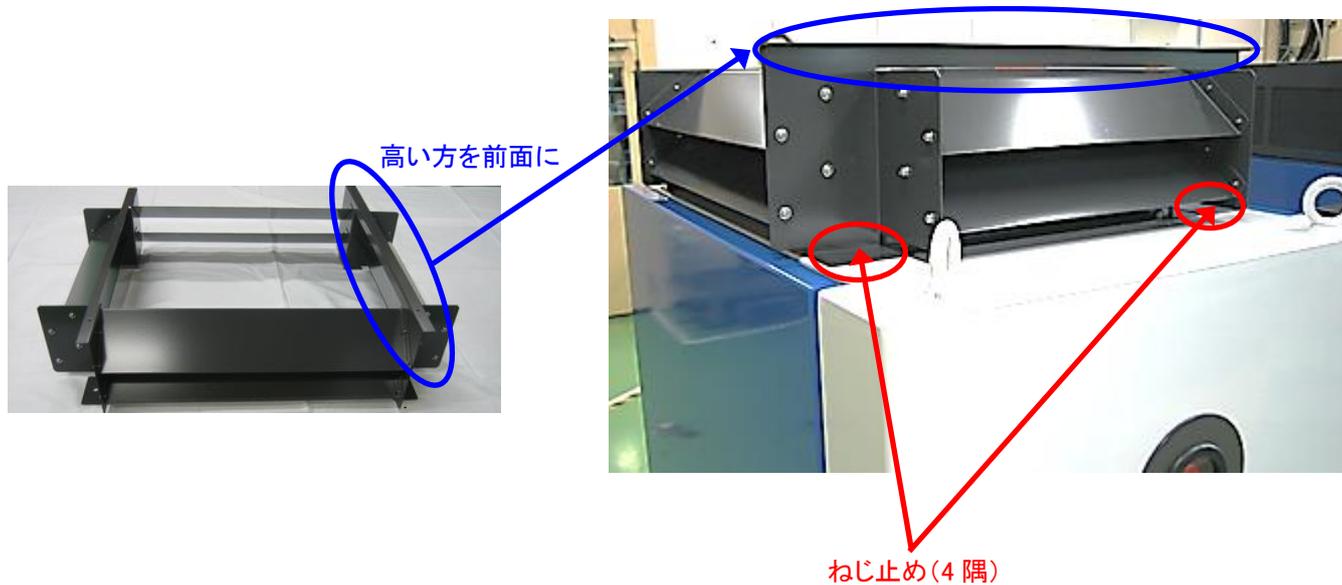
- ① 漏電ブレーカは「OFF」の状態。
- ② アースバーに接続されている SPD のアース配線(1 本 下記参照)を外してください。



- ③ 試験終了後は SPD の配線(1 本)を接続してください。

## 6. ルーバー取り付け

ルーバー形状の高い方を【充電器前側】にして取り付けてください。(M6×12W セムス-4本)



## 7. 天板取り付け

背の高い方を【充電器前側】にして取り付けてください。(M5×10トルクス-4本)

背の高い方を前側にする



ねじ止め(天板上側4本)

